

今こそ発揮！ 意志ある行動

あなたの力が社会を変える

市民セクター
全国会議 2010



主 催：市民セクター全国会議2010実行委員会
特定非営利活動法人日本NPOセンター

特別協賛：ファイザー株式会社

セミナー 6 [資金改革]

■ 11月23日(火) 9:30~15:00

■ 会場: (6F) グリーティングルーム

「市民ファンド」のつくり方・育て方

協力: 特定非営利活動法人市民社会創造ファンド

内 容

「市民ファンド」の明確な定義はまだありません。ここでは仮に「市民の寄付を中心に、市民(活動)を助成対象に、市民が運営するファンド」としておきます。市民による・市民のための・市民のファンドといいましょう。このような市民ファンドは、10数年前に誕生し、市民一人ひとりの志を原資に、何とか自立させながら、市民活動・市民運動の芽を育み、社会変革に向けた役割を果たし続けています。市民ファンドの運営に関わっている皆さん、これから立ち上げようと検討している皆さん、とにかく関心のある皆さんが、市民セクター全国会議に結集し、3つの先駆的な事例から共に学び、交流し、市民ファンドを育む土壌づくりの契機にしたいと思います。全国からの積極的な参加と報告をお待ちしています。

- ◎ 論 点
- ・市民ファンドはなぜ必要か —市民セクター強化に果たす役割—
 - ・市民ファンドをいかに立ち上げ、いかに育てるか
 - ・「地域」と「全国」で共通するもの・異なるもの —寄付集めから助成先の決定まで—
 - ・多様な市民ファンドをつくり育てるためのネットワークの重要性

タイムテーブル

- 09:30 ~ 開会・趣旨説明
- 09:35 ~ 事例報告1「草の根市民基金・ぐらん」・質疑
- 10:15 ~ 事例報告2「神奈川子ども未来ファンド」・質疑
- 10:55 ~ 休憩
- 11:05 ~ 事例報告3「高木仁三郎市民科学基金」・質疑
- 11:45 ~ 総合討論
- 13:30 ~ 参加者による全国各地の「市民ファンド」の活動報告と意見交換
- 14:30 ~ 「市民ファンド連絡会(仮称)」の立ち上げについて
- 15:00 終了



Profile

事例
報告者

奥田 裕之さん (おくだ・ひろゆき)

特定非営利活動法人まちぼっと スタッフ

生活クラブ生協の職員を経て、NPOまちぼっと勤務。主に「市民ファンド」や「市民によるまちづくり」など、市民社会に関する実践と政策提案を行っている。その他に、コミュニティ・ユース・バンク momo顧問、天然住宅バンク理事、桜美林大学非常勤講師など。著書・政策提案として「市民ファンドが社会を変える—ぐらんが紡いだ100の物語—」「市民が描く社会像—政策リスト37」「新しい公共を担う市民企業法人与非営利バンク」ほか。

菅波 完さん (すげなみ・たもつ)

特定非営利活動法人高木仁三郎市民科学基金 事務局

1966年生まれ。1990年京都大学理学部卒業。同年三菱銀行に就職し、法人取引全般を担当。1997年に三菱銀行を退職し、WWFジャパンに就職。総務経理、会員管理業務を担当するかたわら諫早湾などの干潟保全活動にも参加。2002年にWWFジャパンを退職し、高木仁三郎市民科学基金の事務局となり現在に至る。「有明海漁民・市民ネットワーク」事務局長、「柏崎刈羽原発の閉鎖を訴える科学者・技術者の会」事務局長を兼務。

米田 佐知子さん (よねだ・さちこ)

特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド 事務局長

大阪府生まれ。総合商社に勤務しながら国際協力NGOにボランティア参加。1990年に神奈川へ転入後は、かながわ県民活動サポートセンターアドバイザー、まちづくり情報センターかながわスタッフなど、NPOの中間支援活動に関わる。1996年、子育て当事者による子育て支援NPOを立ち上げ、横浜市域、神奈川県域の子育てネットワークをコーディネート。2005年より現職。全国初のテーマ型地域市民ファンドの専従スタッフとして、企業、組合、商店街、奉仕団体等をまわり、NPOへ社会資源をつなぐ試みを続けている。

ファシリ
テーター

坂本 憲治さん (さかもと・けんじ)

特定非営利活動法人市民社会創造ファンド 事務局長

大学・大学院にて建築・都市計画を専攻後、都市計画コンサルタントに入職。千里ニュータウンの都市計画調査や市民参加型の環境計画づくり(ローカルアジェンダ21・環境基本計画の策定)に従事。2002年、日本NPOセンターに転職。市民社会創造ファンドの設立後、日本NPOセンターより出向。2006年、市民社会創造ファンドに移籍。プログラム・オフィサーとして個人・企業・財団が行う市民活動助成の相談・企画開発・運営に従事。